

角田市都計画マスタープラン（案）の概要についての市民説明会について

開催日時：平成25年1月30日（水）午後7時～午後8時50分

開催場所：角田駅コミュニティプラザ 2階イベントホール

市民参加者：26名

市民説明会での意見に対する市の回答

| | ご意見 | 市の回答内容 |
|---|---|--|
| 1 | <p>アルプス電気(株)西側の土地について、用途地域の指定が第一種中高層住居専用地域となっているが、角田駅に近く工場等の需要もあるので、工業専用地域にできないでしょうか。</p> | <p>地盤が軟弱で、立地条件が悪いため、工場を建てるのは向いていないと判断しています。</p> <p>アルプス電気のあるところは準工業地域で、その周りが第1種中高層住居専用地域ということで、アルプス電気が工場を拡張する場合は、工場が建てられない状況になっています。今回都市計画マスタープランの中で、用途地域の見直しの方針があるということで、事前にアルプス電気にお話を差し上げたところ、工場の拡張の予定はないというお話でした。</p> |
| 2 | <p>どのような観点から、このようなマスタープランを導いたのでしょうか。</p> | <p>マスタープランの構成については、ある程度、形が決まっております。現況調査を行い、課題を整理して、そこから基本構想を出して、いろいろな方針を定めていくことになっています。</p> <p>内容の部分については、関係課の職員を集めて検討部会をつくり、その中で協議しています。</p> <p>また、長期総合計画や県で策定するマスタープランに沿った形で、市のマスタープランをつくっております。</p> |
| 3 | <p>角田駅周辺が一向に変わっていないと思います。駅前通りが発展していないのではないのでしょうか。まちづくりは、駅を中心として、その発展計画を立てていくのが普通の都市計画づくりではないのでしょうか。</p> | <p>都市計画マスタープランは、長期総合計画の下にぶら下がっている計画です。長期総合計画については、平成27年に見直しをする計画です。始まって日が浅いものですから、まだ評価にまで至っていないのが現状です。都市計画マスタープランについては、これから策定するので、個々の計画については、これからと考えております。</p> <p>また、角田駅前のことについては、まちづくり全体の中で、旧市街地の賑わいが戻ってこない部分がありますし、都市計画マスタープランの中でも、旧市街地から角田駅までを賑わいの軸ということで位置づけておりますので、この区間について何らかの施策を展開して、交流人口100万人を目指しながら、賑わいを取り戻していきたいと考えています。</p> |

| | | |
|---|---|---|
| 4 | <p>「公営住宅の建替えを計画的に推進します」となっていますが、取り壊した市営住宅の跡地を、市以外の人に無料で提供するような大胆な策をとることはできないのでしょうか。</p> | <p>公営住宅の長寿命化計画というのを立てておりまして、試算で490前後の戸数が入る公営住宅があれば間に合うのではないかとこの計算になっておりまして、ある程度、集約化を図っていきたいと考えております。小さいところは用途廃止して、大きいところに集約していきたいと考えております。市営住宅のほとんどが汲み取りトイレで、水洗化しているのが1割から1割5部くらいで、既存の2階建ての住宅（関の内、金谷）の環境整備をしながら建て替えをしていくように考えております。跡地の無料提供については、行政財産なので、提供はできません。</p> |
| 5 | <p>都市計画マスタープランと長期総合計画との関係を明確にしたほうがわかりやすいのではないのでしょうか。</p> | <p>長期総合計画の重点プロジェクトに「交流人口100万人都市への挑戦」がありますが、その中の施策の体系で、「賑わい交流拠点の整備」や「交通ネットワーク化の整備」がありますが、それらについては、都市計画マスタープランの方針として盛り込んでおります。</p> |
| 6 | <p>野田地区の雨水排水対策は、どのように考えているのでしょうか。</p> | <p>救急内水排除の件ですが、中島川の下流に国土交通省でつくった毎秒1トンのポンプが6台設置されております。そのうち、2台が移動可能なものですが、中島川の上流について、排水が間に合っているのかというと、最近のゲリラ豪雨とかで氾濫が起きている状況ですので、移動は不可能かと思っています。</p> <p>野田地区の地形が自然排水できない状態で、すり鉢状になっているものですから、強制排水も含めて計画を作成しているところで、できるだけ早く事業に着手できるようにしたいなということで進めております。</p> |
| 7 | <p>都市計画道路の整備進捗率はどのくらいなのでしょう。</p> | <p>都市計画道路については、平成23年現在で、改良済のものが53.4%で、整備が完了したのが駅前大通線、駅前大沼線、北角田大通線です。</p> <p>マスタープランの中では、都市計画道路の見直しの方針を定めております。</p> |
| 8 | <p>広報かくだの市長日誌で、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ横断道路を角田に通すという構想の記事があったと思いますが、大賛成です。大きい目標に向かってやったほうが角田は発展するのではないのでしょうか。</p> | <p>角田市単独でできる事業ではないので、現段階でマスタープランに書き込むのは、難しいと思います。</p> |
| 9 | <p>ホーチキ(株)交差点から広域農道や毛萱トンネルに通じる道路があれば、利便性が高まるのではないのでしょうか。</p> | <p>市街地を通らずに、環状道路という構想も考えられると思います。現在、住社橋の整備を進めておりまして、これは、市街地を囲む環状道路の形成を目指しておりまして、これが終わる頃を目指して、外環状の道路のネットワークというのでも検討していきたいと考えております。</p> |

